

あなたのまちと公園をよりよくしていくための ワークショップ ニュースレター No.1

公園をよりよくする方法を考えよう！

■開催概要

日 時 2026年5月30日(土) 14:00~16:00
場 所 御殿山会館 会議室 参加者 13名



■ワークショップ内容

イントロダクション

- 宝塚市のこれからの公園づくり
- 公園区計画の役割
- まちづくりについて公園が貢献できること

(資料についてはこちらを参照)



グループワーク①

- 自治会、御殿山公園住民の意見等をふまえた、御殿山公園の**これからの方向性(案)**について共有
- 方向性に対する印象や、御殿山公園で**どんな過ごし方をしたいか**を意見交換

グループワーク②

- 方向性をもとに作成した御殿山公園の**計画イメージ(案)**について共有
- グループワーク①で意見交換した過ごし方を実現するために、計画イメージ(案)を見ながら**気になることや、改善点**について意見交換

■対象公園設定について

- 宝塚公園区では、良く利用されていて広さもある御殿山公園を対象公園に設定

※公園区 = まちづくり協議会 (概ね小学校区ごとにある)





グループ間での意見交換→



■グループワーク① 御殿山公園のこれからの方向性(案)について

事前のアンケート等をもとに、市が御殿山公園の将来像のたたき台（全体コンセプト（案）・イメージ図（案）・各方向性（案））を作成しました。ワークショップでは、この案について「いいなと思った点」「少し気になった点」や、公園で実現したい過ごし方について意見交換を行いました。

-  いいなと思った(件数) ※件数は、参加者が印を付けた数であり、関心の高さや意見の傾向を示すものです。
 少し気になった(件数) ※「特に大事にしたい過ごし方」については、**太字**で表現しています。

【全体コンセプト（案）】

防災機能も備えた多世代が交流できる空間



9件



0件

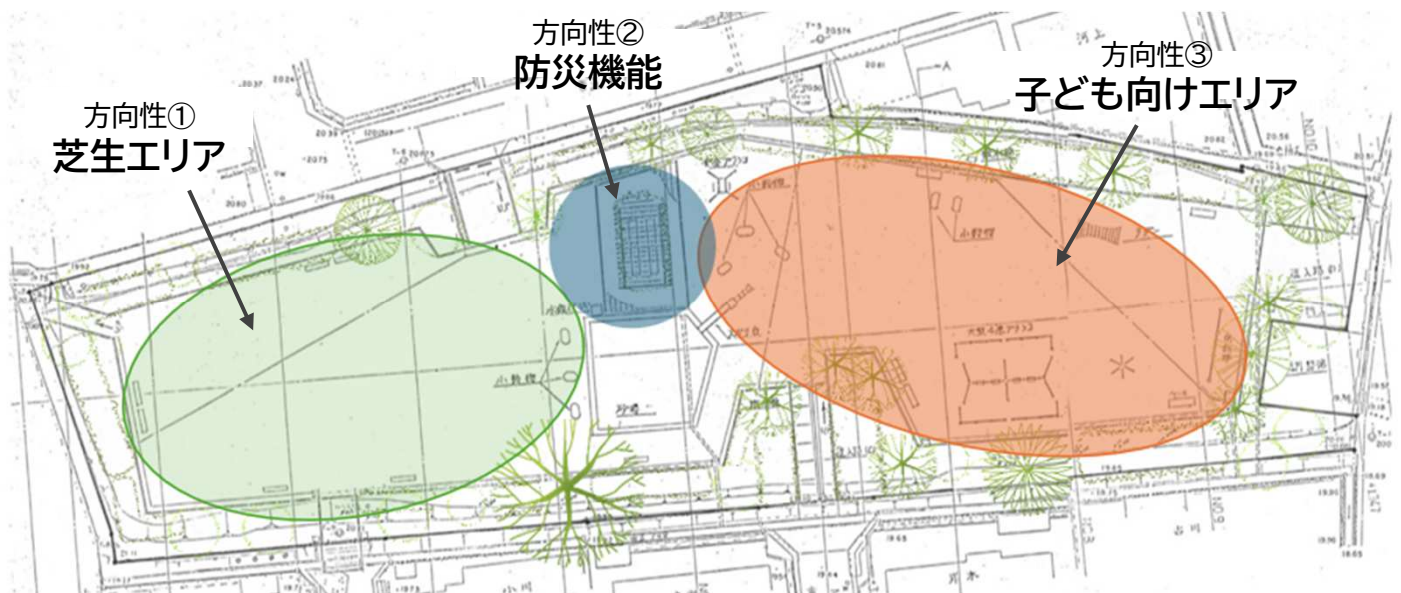
【参加者からの主な意見】

- ✓ **きれいが保たれた空間**
- ✓ 犬の利用に関するルールが明確になっている
- ✓ 落ち着く空間(1日中、人が滞在できるようになると、周辺住民にとっては落ち着かない)
- ✓ 高齢者でも利用しやすい空間



グループワーク①

●御殿山公園のこれからの方向性のイメージ図（案）



【方向性①（案）】

いろいろな世代が自由に
過ごせる芝生



3件



9件

【参加者からの主な意見】

- ✓ **芝生でなくてもよい**
草が生えていても遊べる仕様
- ✓ **日陰で休憩やおしゃべり**
できる
- ✓ イベントができる

【方向性②（案）】

多世代が安心して集える
防災機能を備える



12件



0件

【参加者からの主な意見】

- ✓ **防災機能が充実している**
- ✓ 地域の防災訓練ができる

【方向性③（案）】

いろいろな年齢の子ども
が楽しく遊べる



3件



4件

【参加者からの主な意見】

- ✓ **小さい子どもも遊べる**
- ✓ **学童等に活用できる**
- ✓ 子どもを見守れる空間

【複数の方向性に関わる参加者からの意見】

- ✓ 日常的に休憩したり、おしゃべりできる
- ✓ **高齢者の健康づくりができる**
- ✓ 子どもと高齢者が共存できる空間にしてほしい
- ✓ 周辺の静かな環境との調和が必要(子どもの遊ぶ声、ボール遊び、夜間利用)
- ✓ 子ども向けエリアにまとまった遊具がほしい
- ✓ 健康遊具を設置してほしい
- ✓ 健康遊具を活用した見守りができるとよい
- ✓ 芝生エリアにも防災機能がほしい
- ✓ 高齢者が集まれる

■グループワーク② 公園をもっと使いやすくするには？

次に、グループワーク①で選んだ「特に大事にしたい過ごし方」を実現するためにはどうしたらいいかをみんなで考えました。

💡 期待すること ⚠️ 配慮すること、課題 💬 提案、アイデア、工夫

テーマ		グループワークでのアイデアや意見	
遊び場の充実	広場	💡 高齢者が運動できたり、ゆっくりできる ⚠️ ボール遊びは他で行うよう誘導する 💬 幼児の柔らかいボールなら可	💡 散歩や休憩、犬連れでの利用できる ⚠️ 幼児のボール遊びも禁止
	遊具	⚠️ 遊具の設置は、住宅前以外に 💬 遊具の数、位置の見直し 💬 幼児コーナーの設置 💬 鉄製遊具の入れ替 💬 ブランコ下の凹の改善 💬 砂場に蓋を設置 💬 健康遊具の設置 (ぶら下がり棒や、平行棒)	⚠️ 子どもが集中する大型遊具は設置しない 💬 砂場での事故が懸念されるので、砂場は撤去したほうがよい 💬 子どもエリアの真ん中または、メインとなる遊具を一つ設置(ボール遊びの抑制、見守りしやすくなる) 💬 遊具と広場のゾーンを入れ替える 💬 学童や保育所の利用に対応できる遊具の設置
	周辺環境への配慮	⚠️ にぎわいのある活動は実施日時に配慮する	
防災	防災機能の向上	💬 防災用倉庫の設置(⚠️ 設置スペースや管理面の検討必要) 💬 西側広場に、災害時にのみ利用できるトイレの設置 💬 防災かまど、防災ベンチ、防災トイレ	
滞在・利用しやすさ	水道	💬 立水栓の設置	
	トイレ	💬 トイレは不要(維持管理が大変)	
	休憩所 ベンチ	💬 屋根、背もたれつき付きベンチの設置 💬 日陰のあるベンチ	💬 植栽とベンチの位置を離して虫刺され対策 💬 ベンチの増設 💬 熱くならないベンチ
	園路	💬 芝の周縁に歩きやすい舗装の散歩コースを設置し、キロポストを設置する 💬 傾斜や土、水たまりを無くし、だれでも利用しやすい広場にする	
	バリアフリー	💡 車いすや手押し車、杖でも歩きやすい 💬 手すり付きの散歩コース	
維持管理	清掃	💡 雑草がない快適な公園の維持 💬 維持管理を改善し、定期的な清掃 💬 雑草対策として砂利を敷く	⚠️ 落ち葉、落枝が気になる 💬 雨天後の水はけの改善
	芝生	⚠️ 天然芝は管理が大変	💬 人工芝または土にする
その他	ペット	💡 犬の散歩での利用 ⚠️ 散歩のマナーを守ってもらう ⚠️ 子ども向けのエリアにはペットをいれない ⚠️ 犬の散歩は禁止にする 💬 一部のエリアを休憩、飼い主同士の交流に使えるようにする	
他の公園や施設でできそうなこと		✓ イベント的に花火ができる日を設定する ✓ 学校の校庭を活用し、ボール遊びや自転車の練習ができるようにする	

今回のワークショップでは、利用ルールや高齢者に対する配慮、遊具などについて多くの意見が寄せられました。第2回ワークショップでは、上記のご意見をもとに、実現したい使い方や過ごし方を支える空間や設備について考えます。また、地域でできる工夫や関わり方についても話し合います。